

## 宗像市市民参画等推進審議会議事録(要点筆記)

日時	令和3年5月17日(月) 13:30~
場所	宗像市役所 103A会議室
委員	■ 新井佳代子    ■ 大里朋子    ■ 鎌田隆徳    ■ 木村健次 ■ 佐藤靖成    ■ 種田明美    ■ 東博子 ■ 福岡佐知子    □ 山田明        ■ 吉村義廣 (五十音順、敬称略)
事務局	コミュニティ協働推進課(花田課長、杉山係長、成瀬、金子、佐藤) 元気な島づくり課(上村係長、梶木)

### 1. はじめに

課長あいさつ

人まち補助金が7件、島づくり補助金が3件の申請があつている。屈託のない意見をお願いする。

### 2. 委員の委嘱について

中村市民協働環境部長から委嘱状交付。

会長に東博子氏、副会長に種田明美氏が互選により選出。

東会長からあいさつ

市民参画協働を推進するうえで、本補助金も重要な役割を担っている。先日に答申した内容も含め、市民参画協働の推進をしていくため、審議会として力を合わせて頑張っていきたい。

### 3. 令和3年度の審議会の全体スケジュールについて

事務局から令和3年度の審議会の全体スケジュールを配布資料に基づき説明。

### 4. 協議事項等

#### (1) 令和3年度宗像市人づくりでまちづくり事業補助金及び元気な島づくり事業補助金の審査方法等

本補助金の審査方法等について事務局から資料に基づき説明。

## (2) 補助金申請内容の確認等

令和3年度宗像市人づくりでまちづくり事業補助金及び元気な島づくり事業補助金の一次審査結果を配布資料に基づき説明。

### ○人づくりでまちづくり事業補助金

#### ①赤ちゃんの育つ環境を守る会・ゆるりんこ「子育て支援(3-1)」

市関連部署；子ども育成課

事務局から申請内容について説明。

(質疑) 医師の講座講師謝金が事業計画の中に入っていないのはなぜか。また講師に対する旅費が計上されていないが計上する必要があるのではないか。

(事務局) 医師が講師を務める講座は3月に計画されている。講師は団体メンバーの医師が実施予定であり、旅費は団体の交通費の中に含まれる。

(質疑) 会場はどこを利用する予定なのか。

(事務局) 会場はスタッフ方の自宅等を利用すると聞いている。

(質疑) 団体のスタッフ数が昨年の1名から2名に増員されているが、活動に何か変化があるのか。

(事務局) 「ママたちのフリースペース」の回数を増やすなど昨年から変更すると聞いている。

(質疑) 団体が昨年度グリーンコープからの助成金を受け取っている。予算書に記載がないが、今年も受け取るのか。また前年度の繰越金が申請書の予算に反映されていないが、その理由は何か。

(事務局) グリーンコープからの助成金は団体が実施している別の事業に使用しており、本事業には使用されないため、予算書に記載していない。繰越金については、審査会時に団体に確認していただきたい。

#### ②母と子のサロン つむぎ「母と子のサロン つむぎ(3-1)」

市関連部署；子ども育成課、子ども家庭課

事務局から申請内容について説明。

(質疑) 親子が中心となって団体を構成しているが、団体の継続を考慮すると団体の人数が少ないと思われるが、団体の人数を今後増やす予定はあるのか。

(事務局) 活動内容によっては、支援者から手伝いをうけながら活動すると聞いている。団体の人数の増員の計画までは把握していない、審査会のときに聞いていただきたい。

(意見) 事業計画にメンバーを増員する計画内容も追記してもらえればと思う。

(質疑) 乳幼児の子育て支援で市が取り組んでいることはあるか。

(担当課) 市が取り組んでいる支援の中に、子育てサロンがある。子育てサロンは小学校

区ごとに 21 か所あり、各地域の民生委員等が小学校の和室やコミュニティ・センターで実施している。昨年度は、新型コロナウイルスの影響で休止しており、今年度は1か所だけの実施に留まっている。団体がサロンを実施したいと、申請があることは市としてもありがたい。

地域サロンの存在は、妊婦さんの孤独を解消するための場所として存在が大きい。産前や産後の妊婦さん等の不安を軽減するために、市では産後ケア事業を実施しているが、利用が進んでおらず、今後は拡充して地域の助産師さんが訪問するなど充実していきたいと考えている。市が行う事業では、ケア自体が個別で実施していくこともあり、団体が実施する活動が産後ケアやお母さん同士のつながりづくりの場として期待したい。

- (意見) 新型コロナウイルス感染防止対策について、各団体に審査会で説明を求めたい。
- (質疑) 地域で実施しているサロンを連携する仕組みはあるのか。
- (担当課) 市が主催し、サロン同士の代表者を集め、サロン連携会議を開催している。昨年度は3回ほど実施しており、その中ではサロンを開催する方法について、意見交換などを実施した。

### ③「中央学園」サポート本部「子育て支援のための人材派遣、発掘・養成事業(3-1)」 市関連部署；教育政策課

事務局から申請内容について説明。

- (意見) ボランティア養成講座の参加者には、具体的に何をしてほしいのか。
- (質疑) 予算に団体活動の環境整備として、備品のタブレットが計上されているが、高額の品を計上してよいのか。
- (事務局) 金額の大小に関わらず、備品の購入は、事業実施にあたって備品が必要不可欠だと認められる場合のみ購入は可能である。
- (意見) 申請書からでは、団体がどのような活動をしていくのかイメージができない。
- (質疑) コミュニティ・スクールの推進は本市の教育の重要な課題であるが、その手引きの作製やボランティアの養成については市が取り組むべきではないか。
- (担当課) 国ではコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進の方針を出しており、コミュニティ・スクールは、学校を中心とした会議であり、地域学校協働活動は学校を核とした地域づくりである。本申請は地域学校協働活動に該当するもので、主体は地域となる。手引きについては、本補助金に申請した団体に登録したボランティアの方に活動内容や活動の際の注意点などをお知らせするものと思われる。中央学園の地域は、東郷コミュニティ・センターと南郷コミュニティ・センターがまたがっており、申請団体は両コミュニティ・センターとのつながりをつくるものと聞いている。
- (質疑) 子どもたちの支援活動の具体例に何があるのか。
- (担当課) 昨年度の実績として、寺子屋事業、子ども教室、自転車交通安全教室などのボ

ランティアの募集などがある。

(質疑) 市内の学校では保護者、市民活動団体や地域住民等の方が学校の支援活動に関わっている。個人情報の取り扱いはどのようにしていくのか。

(担当課) セキュリティー等を考慮し、個人の情報端末を利用するのではなく、団体が購入した情報端末を利用したいと聞いている。また団体のメンバーには、学園コーディネーターの方がおり、その方が情報を管理していくと認識している。

(質疑) 学園コーディネーターの方は団体のメンバーに入っているのか。

(担当課) 事務職員として、団体の名簿に記載されている。

(質疑) 学園コーディネーターは市の職員なのか。

(担当課) 非常勤の職員に該当する。主な仕事として、学園内の学校を結びつけたり、地域の方からの意見を聞いたりしている。

(意見) どういう活動をやっていくのか、どういう姿を描いているのかについて、審査のときに意見を求めたい。

(意見) 会員数を考慮すると、会費が20万円程度になる見込みである。この会費の使用用途や一部会員の会費免除について当日に意見を求めたい。

(意見) 団体から活動の趣旨などについて、審査会のときに意見を求めたい。

#### ④CLICK「地域でのプログラミング教室開催とPCの活用(3-2)」

##### 市関連部署；教育政策課、子ども育成課

事務局から申請内容について説明。

(質疑) 昨年度の活動の中で、学校へ問い合わせをしても返事がもらえないなど協力を十分に得ることができなかったが、市としてどのような協働体制をとるのか。

(事務局) 団体の事業の内容や要望に対して応えていきたいと考えており、市や市民活動・NPOセンター等にて相談を受ける。また対応については改善していきたい。

(意見) 団体を立ち上げ、1年目は夏の課外授業への参加により多くの小学生が団体活動に参加してくれたが、2年目となる昨年度は、新型コロナウイルスによる影響により夏の課外授業が中止となったこともあって、活動に小学生がなかなか集まらなかったと報告があった。

(事務局) 昨年度の夏の課外授業が中止となった後に、市からのフォローが無かったと団体から指摘されたため、もし今年度も夏の課外授業が中止となった場合は、団体と協議し、支援ができるようにしていきたい。

(意見) 団体が独自にイベントの募集をしても人が集まりにくいのが、夏の課外授業のパフレットに掲載されると多くの募集がくる。市の広報に掲載しても、市民の目に留まりにくいので、夏の課外授業が中止となった場合、是非とも市でフォローしてほしい。

⑤宗像ビブリオバトル倶楽部「ビブリオバトルを通じた読書活動推進事業（3-2）」

市関連部署；図書課

事務局から申請内容について説明。

特に意見等なし。

⑥「子ども寺小屋カフェ」を運営する会「子ども寺小屋カフェ」等の事業(3-3)」

市関連部署；子ども育成課、コミュニティ協働推進課

事務局から申請内容について説明。

(質疑) 昨年度の審査会では食費の一部が削減されていたと思うが、その旨の説明を団体にするときにはどのようにしているのか。

(事務局) 団体へは決定通知書で知らせているのみである。市から特別に説明をしてはならず、団体から問い合わせがあった場合は、個別で回答している。

(質疑) 不採用や減額となった場合は、団体に対してその理由を説明したほうがいいのではないか。また昨年度に不採択となった団体にどこまで不採択の理由を説明しているのか。

(事務局) 昨年度は、不採択決定の通知書を送付しているのみで、不採択理由については伝えてはいない。今年度から不採用や減額となった団体には、その理由の説明を実施していきたい。

(意見) 不採択の理由が分からなければ、次年度に再申請しても同じことが起きるのではないか。不採択について不満を持っている団体に対して、しっかりとその理由を説明することは大切ではないか。

⑦二丁目小学校「二丁目小学校 開校(3-3)」

市関連部署；子ども育成課、コミュニティ協働推進課

事務局から申請内容について説明。

(質疑) 昨年度は新型コロナウイルス感染の影響によって、何回か事業が中止となっているが、団体から何か相談などはきているか。

(事務局) 特に団体から新型コロナウイルス感染に関する相談はうけていない。今年度は実施する考えだと聞いている。

(意見) 他の団体も含めて消毒液などを計上しているところが少なく、各団体に確認したほうがよいのではないか。

## ○元気な島づくり事業補助金

### あ 大島学園PTA「おおしまワクワクプロジェクト(5-1)」

市関連部署；元気な島づくり課、コミュニティ協働推進課

事務局から申請内容について説明。

(質疑) 予算に計上されている渡船に関わる費用は、補助金対象の間は減免になるのではないか。

(事務局) 渡船に関わる費用は減免になるのではなく、全額補助対象として取り扱う。

(質疑) 新規の申請団体ではあるが、この補助金に申請した事業は新規事業なのか。

(事務局) 計画書に掲載している事業については、昔から実施している事業となる。事業の中で、学園として何かしらチャレンジしていき、自主性をつくっていきたいと聞いている。

(質疑) 予算書の中にあるターミナル駐車場を利用と公共交通機関を利用は誰がするのか。

(事務局) 島に来る講師が利用する。講師は公共交通機関を利用される方と自家用車で来られる方がいると聞いている。

### い 九州共立大学スポーツ学部「九州共立大学スポーツ学部（大島プロジェクト）～筑前大島におけるスポーツを通じた健康づくり及びコミュニティづくり～(5-4)」

市関連部署；元気な島づくり課、コミュニティ協働推進課

事務局から申請内容について説明。

特に意見等なし。

### う 地島小学校PTA「いきいき地島っ子活動支援」(5-5)」

市関連部署；元気な島づくり課

事務局から申請内容について説明。

特に意見等なし。

## 5. その他

(意見) 現行の島づくり補助金は3年目まで4分の3の補助率だが、4年目から2分の1に変更となる。島づくり補助金に申請している団体はPTAなどであるから、収入を増やすことができないため、補助率が低下してしまうと、これまで実施してきた事業の規模を縮小しなければならなくなってしまう。事業を継続するために

も4年目以降も補助率を維持した方がよいのではないか。

(事務局) 4年目以降に補助率が低下によって、その後の活動が厳しくなると団体から聞いている。現状を踏まえて、今後検討していきたい。

(意見) 物を運搬するにしても運賃が発生するなど、島での生活や活動に負担が発生している現状を考慮してほしい。

(意見) 補助率の変更については次回の本審査時に関係課と協議し、今後の展望について知らせてほしい。10月の審議会までに来年度以降どうするのか伝えてほしい。

(事務局) 審査会の日を5月27日に設定していたが、新型コロナウイルス感染症対策の観点から審査会の日程を延期させていただきたい。ただ、団体の活動を考慮すると、補助の決定は6月には実施したいと考えており、状況によっては、書面などによる開催も検討したい。

(意見) 異議なし。

(事務局) 昨年度は、新型コロナウイルス感染の影響により事業が実施できなかった団体は休止扱いとし、その年度を採択年数に入れないとする対応をした。今年度に新型コロナウイルス感染の影響によって事業が実施できなかった団体の取扱いも昨年度と同様としてよろしいか。

(意見) 異議なし。

=散会=